

業種	鉄道・軌道
取組分野	教育・訓練
テーマ	クロスロードを活用した教育・訓練の取組
取組の狙い	技能要員への教育・訓練においてクロスロードを活用することにより、想定外事象の発生事案に対し、前例にとらわれることのない意見交換を実施し、想像力・判断力・発信力及び行動力を養うことを目的とする。

具体的内容

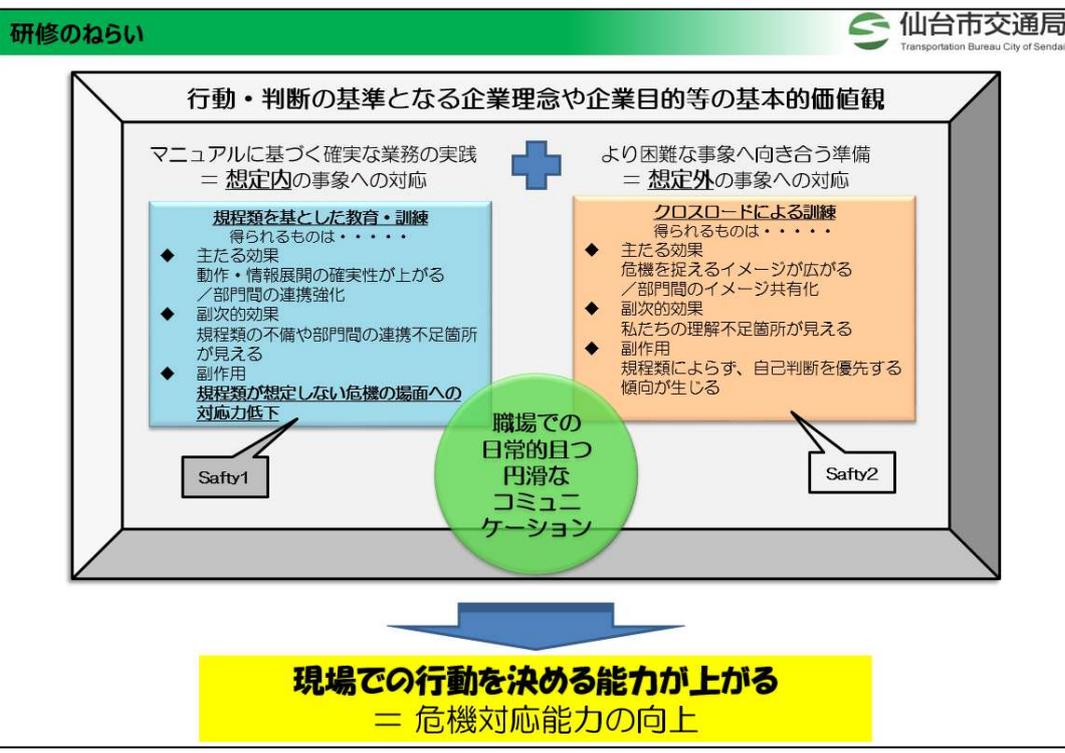
1. 実施概要

クロスロードは、阪神淡路大震災がきっかけとなって誕生したカードゲーム方式の防災教材である。具体的には、判断するのが悩ましい事案に対して選択を迫られた場合の自身の行動とその理由を、少人数でディスカッションするというもので、ゲーム感覚で研修を進めてできることが特徴。東日本大震災後、仙台でも取り入れられ、多くの防災研修で用いられている。

マニュアルに想定されていない未知の事象に向き合う訓練であり、マニュアルに基づく従来の訓練と併せて行うことにより、危機対応能力向上が期待できることから、平成30年度から取り入れた。主に現場の管理業務に従事する係長以下の職員を対象にして実施している。

2. 実施方法

運転士と乗務助役を対象とした2線区合同の定期教育訓練のメニューや、非常時はもちろんのこと、日頃からバス・地下鉄の職員間で連携の意識を持つことが重要であることから、両事業の職員が互いの意見を出し合い、互いの事業への理解が進むようにグループワークの研修とし、様々な視点や考え方で意見交換を行うため、バス・地下鉄と合同で実施している。



研修のようす



取組の効果

- ① 交流の少ない他の部署の職員と意見交換をすることで、新たな気づきを得た職員や、他の部署の職員と顔見知りになれて仕事がし易くなったと感じている職員等もあり、風通しの良い職場づくりに寄与する研修となっている。
- ② 普段研修に慣れていない運転士へのアンケート結果では、約 **75%**が肯定的な意見であり、否定的な意見の中には研修方法に対する改善案等もあり、クロスロード研修自体には積極的な姿勢が見られている。

事業者名

仙台市交通局 鉄道管理部 安全推進課
(連絡先：022-712-8436)